

対談市町名	対談項目		各市町長の主な発言内容	知事の発言内容
1 鈴鹿市	対談項目1 高齢者、障がい者等の移動の円滑化の推進等について	(1)伊勢若松駅のバリアフリー化について	近鉄伊勢若松駅のバリアフリー化につき、国の公共交通バリア解消促進等補助事業採択に向けての協調した取組と、同補助の三重県協調分(6分の1)の確保をお願いしたい。	平成26年度財源確保ができていないので、絶対とは言えないが、国が補助をするという決定(12月頃)をするのであれば、県としての負担分を確保するための最大限の努力をする。 また、市・近鉄と協力し、国の補助事業採択に向けた要請をしていく。
2 鈴鹿市	対談項目1 高齢者、障がい者等の移動の円滑化の推進等について	(2)バス交通の維持に向けた要望について	Cバス(鈴鹿市内を走行するコミュニティーバス)の運行委託費につき、持続的で安定した財源の確保が急務となっている。国の補助制度のご紹介をいただいたが、当制度は事業の立ち上げを意識したもので活用しづらいことから、県が廃止を予定している「市町村自主運行バス等維持費補助金」の継続をお願いしたい。	国の補助制度の活用のしづらさについては、県からも提言を行い、必ずしも新規路線を創設しなくても、いくつかの要件を満たせば今の路線でも国の補助が受けられるようになった。県としては、市内のみで完結する地域内バスについては制度が緩和された国の補助を活用していただくこととし、県は複数の市町にまたがる地域間バスの支援をしていく。